

将来像

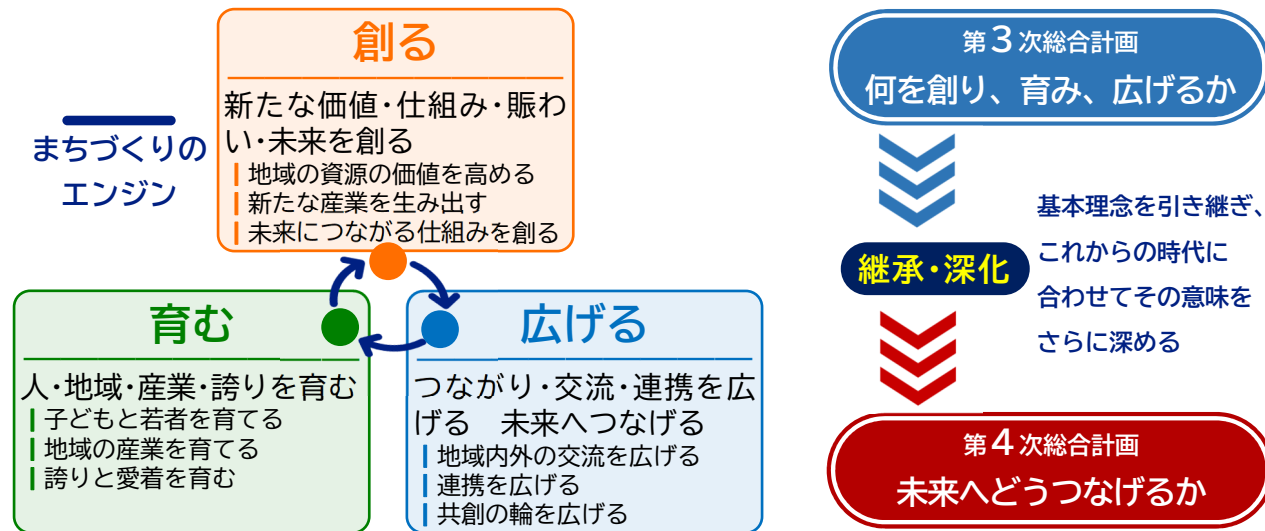
つながりと挑戦で、未来をつくるまち村上

これまで大切にしてきた「あふれる笑顔」と人と地域のつながりを礎に、時代の変化を前向きに捉え、新たな挑戦によって未来を切り拓くまちへ



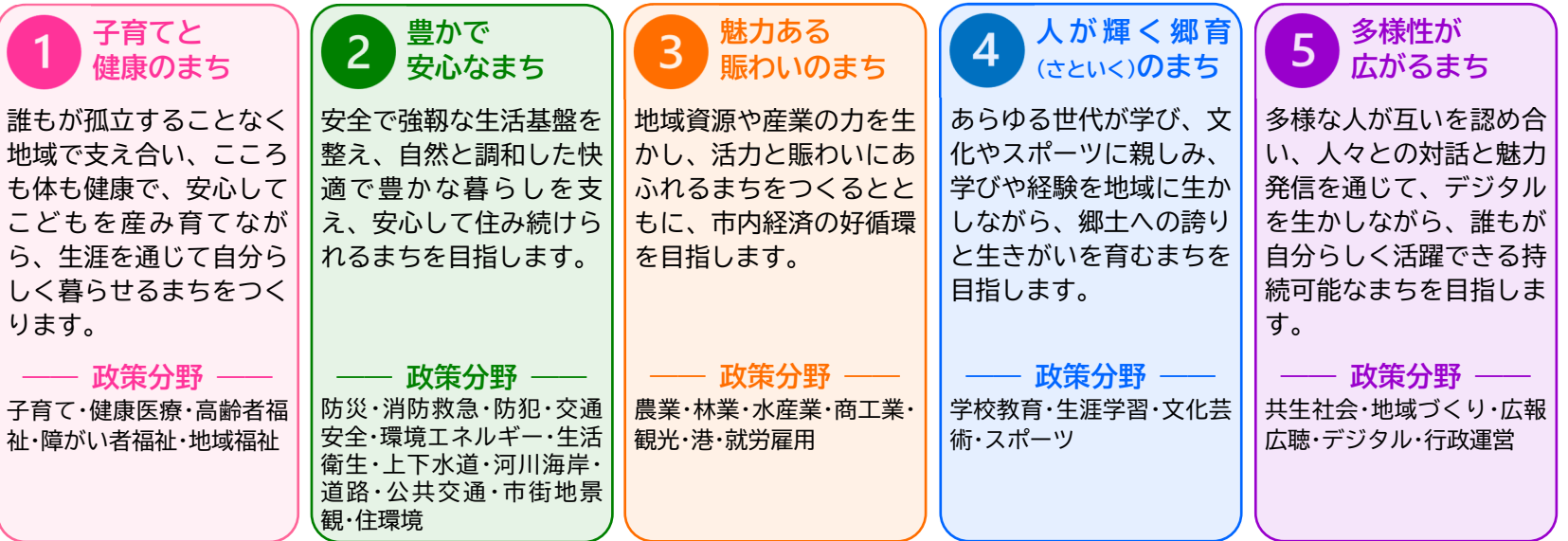
基本理念 ～ともに創り 育み 広げていく 未来へ～

市民一人ひとりと行政が、ともに大切に、あらゆる場面に共通して必要な考え方です。この3要素を進めることで、まちづくりを前に進め、持続させていく力を高めます。



基本目標 ～村上の未来を描く設計図～

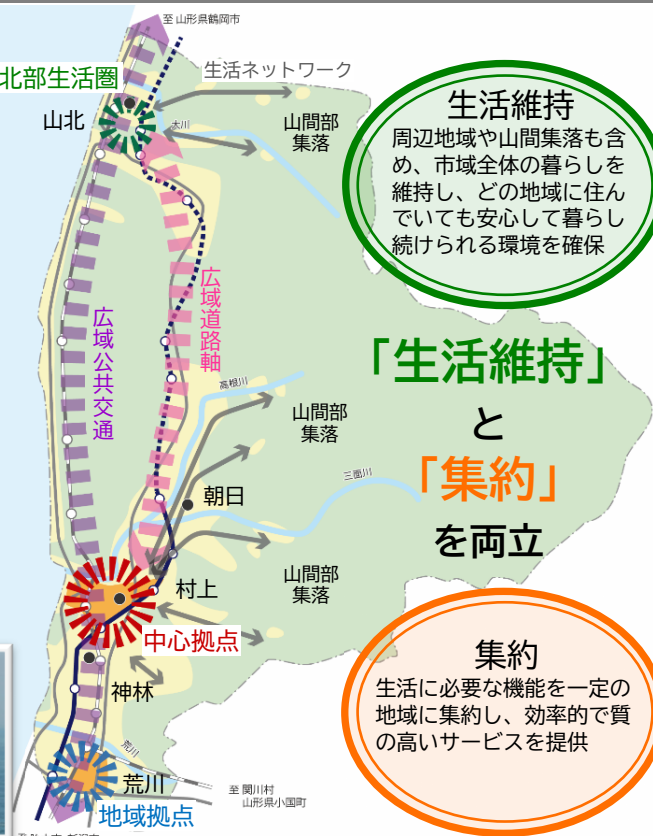
基本目標は、本市が目指す将来像を実現するために、まちづくりを進める上で大切にする5つの柱となる方向性です。



土地利用構想 ～将来の土地利用の方向性～

- 北部生活圏** 【山北】日常生活に必要なサービス機能の維持・確保を図り、地域の特性を生かしながら、安心して暮らし続けられる生活環境を支えます。
- 生活を支えるつながり** 【山間部集落】公共交通やデジタルなどを活用し、市内のどこに住んでいても、必要なサービスにつながることで、安心して暮らし続けられる環境を目指します。
- 中心拠点** 【村上】行政、商業、広域的なサービスなどの都市機能を集積し、本市全体の暮らしや活動を支える中核拠点として機能の充実を図ります。
- 暮らしのつながり** 【神林・朝日】村上地域と地理的に近く、日常生活においてもつながりの強い地域です。村上・神林・朝日それぞれの地域の特性や機能を生かしながら、必要な機能を適切に配置・充実し、その効果を地域全体に広げるとともに、市内各地域とのつながりを深め、暮らしを支えます。
- 地域拠点** 【荒川】中心拠点を補完する拠点として、日常生活を支えるサービス機能の維持・充実を図るとともに、周辺地域の生活利便性を支えます。

価値を生み出すつながり 市内を縦断する全線無料の高速道路は、人やモノの流れを支え、木材産業や洋上風力発電、道の駅、駅周辺整備など、地域の様々な取組をつなぐ基盤となります。人・地域・産業のつながりを広げ、新たな交流や価値を生み出すことで、地域の可能性をさらに広げます。



将来に備える重点視点 ～人口減少時代を乗り越え、持続可能な村上市をつくるために～

人口減少・少子高齢化や担い手不足などの社会環境の変化に対応し、安心して暮らし続けられる持続可能なまちをつくるため、4つの重点視点を5つの基本目標に横断的に取り入れ、限られた資源を効果的に活用しながら取組を推進します。

すべての分野に共通する“横断的”な視点

